

イベントや景観形成による地域のつながりの構築

サンガマキチクノウクウカンホゼンキョウウギカイ（オオサカフタカツキシ）

三箇牧地区農空間保全協議会（大阪府高槻市）

- 大阪府高槻市の南部に位置し、稲作のほか、市の特産品である「三箇牧トマト」やキャベツの生産が行われている。
- 地域住民とともに水稻耕作前の水田を活用したレンゲ栽培、休耕田を利用したコスモス栽培、緑化・花植活動等の様々な活動を行うことで、地域の景観形成を図るとともに、農空間の価値を認識してもらう都市交流活動を実施している。

【地区概要】

- ・取組面積
103.87ha（田100.6ha、畠3.3ha）
- ・資源量
開水路23.4km、農道10.9km
- ・主な構成員
農業者、自治会、小学校等
- ・交付金 3,083,500円（R2）

活動開始前の状況や課題

- 大阪府高槻市の南部に位置し、稲作のほか、市の特産品である「三箇牧トマト」やキャベツの生産が行われている。
- 一方、農業者の高齢化や担い手不足により農業施設の維持管理や地域保全が課題となっている。



地域に広がる農地と三箇牧トマト

取組内容

- 地域の交流として、レンゲの里やコスモス栽培の場を一般開放することで、自然のふれあいを創出。
- 加えて、春に「チューリップフェスタ」、秋に「緑化フェスタ」を毎年開催している。



水路清掃



レンゲまつり



チューリップフェスタ



緑化フェスタ

取組の効果

- 地域の景観に関する意識が向上し、不法投棄などが少なくなった。
- 一般に公開する様々な取組により、広く交流が図られるとともに、農空間の保全につながっている。



花一杯運動



農業体験



地域とのつながり 地域を彩る景観

